



## 令和2年度新入生の皆さんへ

桜満開の命の芽吹きを感じる季節、新たなスタートの日を迎えました。

本来であれば、パイプオルガンによるオープニングに始まる入学式を挙げる所でしたが、新型コロナウイルス感染症の終息の見込みが立っていない状況の中、新入生の皆さんの命を守るために、断腸の思いで入学式を中止することといたしました。残念ですがご理解をお願いし、お祝いのメッセージを届けさせていただきます。

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。教職員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。

新入生の皆さんは、これから始まる大学生活に、期待と不安とで胸がいっぱいのことと思いますが、大学生活は、未来への希望と未来を切り拓くための力を育む「宝」の時間です。その未来において希望を現実のものにしていくために、次の三つの視点を心にとめて学んでいただきたいと思います。

- 一つ目は、勉学に全力で取り組み、日々努力を重ねることです。そのことは、本物の知識を得ることにつながります。本物の知識は、知恵に変えることができます。その知恵は、自分の夢を叶える力を育みます。
- 二つ目は、勉学だけでなく、部活動やボランティアなど、何事にも全力で取り組むことです。何事にも全力で取り組むことで、生きる力が育まれます。
- 三つ目は、たくさんの先生方、お友達、地域の皆さんとの出会いを大切にすることです。自分の未来は他人が開くといっても過言ではありません。出会いの中で、人としての心を学び、様々な経験を積むことで自分自身の可能性が広がり、自分の未来を切り拓く力が育まれます。

未来はやがてやってくるものではありません。目指すもの、見据えるもの、引き寄せるものです。その未来を切り拓くのは自分自身です。未来を切り拓く力を身につけられるよう、福島学院大学は、皆さんの未来への第1歩となる「宝」の「時間」を「真心」を持って提供します。

日本は、少子高齢社会・人口減少社会に入り、全国の市区町村の半分が消滅する可能性があると言われる時代に入っています。福島学院大学は「真心こそすべてのすべて」という建学の精神を掲げ、学んでよかったと言われる「学生第一の大学」、地域に根ざし地域に貢献できる「地域になくはないと言われる大学」を目指しています。福島学院大学で学ぶ皆さんには、果敢に挑戦し続ける姿勢で大学生活の一日一日を重ねていただき、地域を支える一人一人になっていただくことを期待いたします。

今、福島、日本、そして世界中が新型コロナウイルスと戦っています。大震災や感染症によって命が奪われ社会経済活動が止まることは、これまでの歴史の中で何度も繰り返されて来ましたが、しかし、それらを克服して今の社会があります。未曾有の状況に直面している中で、今何が求められているのか、今何をしなければならないのかをしっかりと理解し考えてください。これから皆さんが経験したことのない出来事に出会ったときの行動の仕方を考えるきっかけになることを願っています。

福島学院大学で始まる新入生の皆さんの輝ける未来への第一歩を祝福し、お祝いのメッセージといたします。

令和2年4月8日

福島学院大学 学長 桜田葉子